



## 色とりどりの草木をまとい 山の神を演じる 山の神を 草木と音楽で表現

草木をまとい、大山祇神社に祀られている神や神話を表現する「草木をまとい山のかみさま2019」が6月29日、大山祇神社の神楽殿で開かれ、幻想的な音楽と草木をまとった人々により繰り広げられる神話の世界に、多くの観客が魅了されました。

西会津国際芸術村を中心に、有志によって行われている本イベントは今年で5回目の開催となり、今年ではチェロやギター、太鼓などの演奏を通し、大山祇神社に祀られている神と人間との交流が表現されました。イベントに出演した参加者は、「神聖な場所で草木をまとうことができ、パワーを感じられた。参加できてよかった」と笑顔で話していました。

## 標高509mで初心者向け

### 富士山(新郷富士地区)で山開き！

7月14日、西会津町と喜多方市高郷町にまたがる富士山で山開きが行われ、約60人の登山者が緑に囲まれた登山道を登り、頂上を目指しました。富士山の山開きは、両市町の住民らが地元の活性化のために毎年協力して行っており、今年は高郷町の立岩登山口側で山開きが行われました。約40分ほどで頂上に到着すると、登山者らは頂上からの眺めを楽しんだり、記念撮影をしたり、思い思いに頂上での時間を過ごしていました。



## 水遊びに笑顔はじける

### こども園でプール開き

本格的な夏が到来し、7月17日、こゆりこども園でプール開きが行われました。暑い日が続くプール開きを心待ちにしていた子どもたちは、カラフルな水着に着替えると、はじけるような笑顔で歓声を上げ、水遊びを楽しんでいました。

こゆりこども園では、子どもたちが泳ぐことを身近に感じられるよう、これから8月下旬ごろまで、水遊びを通してバタ足や顔を水に付ける練習などをしていきます。



## 体験活動を通し、町を知り、町の未来を考える 「西会津こども研幾塾」開塾！

6月14日、西会津こども研幾塾の開塾式が町役場で行われ、第1期生として、西会津小学校の5・6年生から12人の児童が入塾しました。

本塾は、町の未来を担う人材の育成を目的に開設され、かつて、町出身の漢学者・渡部思齋しさいが開き多くの偉人を輩出した私塾「研幾堂」をモデルに名付けられました。今後10月まで、町の歴史や文化、産業などを学ぶほか、会津大学のキャンパス見学など、さまざまな体験活動が行われます。

式では、江添教育長から塾の趣旨や今後の活動予定などの説明、また塾長である薄町長から開塾にあたってのあいさつと講話が行われ、その後、町出身で大阪商業大准教授の田崎公司さんが、町の成り立ちや歴史についての講話を行いました。



## 西会津小学校で プール開き

### 新しいプールで 初泳ぎ！

工事中だった西会津小学校のプールがこのたび完成し、6月14日、プール開きが行われました。

式では、岡崎校長が完成を祝うあいさつをし、各学年の児童代表らが水泳学習の目標を発表しました。その後、6年生代表の6人が泳ぎ初めとして、クロールなど4つの泳法の実演を行いました。

プール開きの後は早速授業が行われ、児童らは久しぶりの水の感触に歓声を上げながら、真新しいプールでの初泳ぎを楽しんでいました。



## 思いやりや助け合いの大切さを学ぶ

### 西会津小学校で人権教室 開催

人権教室が西会津小学校で開かれ、児童らが思いやりや優しさ、命の尊さなどを学びました。教室は町の人権擁護委員が講師となり行われました。

このうち、6月10日に開かれた2年生を対象とした教室では、花が水や太陽で育つように人の心も優しさで育つことが例え話を交え紹介され、児童らは人権啓発用のDVDの鑑賞を通し、優しさや相手を思いやる心を持ち、友達と仲良く過ごすことの大切さを学んでいました。





▲6月23日に福島レッドホープス西会津球場で行われた試合



▲7月7日、試合前に両チームへ西会津産米を贈呈



▲写真前列右から2人目が星泰輝さん、3人目が小澤彩希さん



## 7月7日は郡山市で西会津マッチデー 西会津町でレッドホープス戦 開催

福島レッドホープスの試合が6月23日、福島レッドホープス西会津球場で開催され、約300人が観戦に訪れました。BCリーグの後期開幕戦となったこの試合、レッドホープスは序盤に点数を取られる苦しい展開となり、終盤に追い上げを見せましたが及ばず、残念ながら勝利とはなりませんでした。

また、7月7日には「西会津町マッチデー」として郡山市で試合が行われました。当日は町の特産物が販売されたほか、試合では観客に西会津産米がプレゼントされる企画が行われるなど、球場を盛り上げました。試合前には両チームの監督へ西会津産米が贈呈され、試合後には敢闘賞として当日活躍した選手に町特産の菌床しいたけを贈りました。

## 星さんと小澤さんがインターハイと東北選手権へ 西会津高校ボート部が大活躍

西会津高校ボート部が快進撃を続けています。6月1～2日に行われた県高校体育大会で、星泰輝さん（2年）と小澤彩希さん（2年）がシングルスカルで優勝し、インターハイと東北選手権大会への出場を決めました。星さんは舵手付フォドルプルでも2位に入賞し、東北高等学校ボート選手権大会への切符を手に入れました。さらに、6月7～8日に行われた県総合体育大会では、星さんがシングルスカルで優勝し、舵手付フォドルプルでも2位に入賞しました。

この活躍を受け、西高同窓会では6月13日、荒海與志男同窓会副会長が高校を訪れ、生徒らに激励金を手渡し、さらなる活躍を期待し生徒らを励ましました。

## にしあいつ福祉会の各施設やさゆり公園内を清掃 西会津高校生が奉仕活動

7月5日、西高校生が全校奉仕活動を行いました。奉仕の精神を養い、町民の皆さんとのふれあいを目的に行われ、さゆりの園や憩の森、グループホームのぞみなどの福祉施設や、さゆり公園内の美化活動を行いました。生徒らは班ごとに各施設に移動し、美化活動に汗を流しました。次回は10月に行われる予定です。

## 第2回西小わくわくクラブ 奥川で開催 小学生が田んぼの生き物を調査

放課後や休日に西小生がさまざまな体験活動を行う「西小わくわくクラブ」の休日活動が7月6日、奥川地区で行われ、約50人の児童と保護者らが参加しました。第2回目となる今回は、JA会津よつば青年連盟西会津支部の皆さんと合同で田んぼの生き物調査を行い、田んぼに住むオタマジャクシやゲンゴロウなどを調べ、自然環境や食、農業などについて学びました。

生き物調査は坂井康司さんの田んぼで行われ、児童らは田んぼの独特の感触に最初は戸惑い、悪戦苦闘しながらも、夢中で生き物を探していました。捕まえた生き物は、図鑑で名前を調べて記録し、田んぼへ返しました。

その後、奥川みらい交流館へ移動し、捕まえた生き物の生態や特徴、田んぼと自然の関係などについて、当日講師を務めた㈱全農ビジネスサポートの山崎敏彦さんが解説を行いました。今回は36種類もの生き物と、またサンショウウオも見つかりました。講師によると、サンショウウオが見つかることは非常に珍しいということでした。児童らは活動を通し、田んぼが米だけでなく生き物や植物も育てていることや、食と環境と生命が互いにつながっていることを学びました。

体を動かし、学んだ後は、町の食生活改善推進員さん特製のおにぎりや豚汁、キュウリの漬物が昼食に振る舞われ、あらためて自然の恵みに感謝していました。

## 西会津中学校でアントレプレナーシップスクール開催 アイデアの生み出し方を学ぶ

7月9～11日の3日間、西中でアントレプレナーシップスクール（＝限られた資源や、これまでの常識を乗り越え、未来を作るアイデアを生み出す授業）が行われ、2・3年生がアイデアや新しい価値を生み出すための方法や手順を学び、授業を通し自分たちで考えたアイデアを発表しました。3年生の授業では、町をさらに活性化させるためのアイデアを生徒らが考え、グループごとに寸劇を交え発表しました。今回の授業で生徒らが考えたアイデアは今後、光桐祭や12月の子どもの主張大会で発表される予定です。



▲寸劇を交え、自分たちのアイデアを楽しく発表しました